

平成20年度 第1回小平市史編さん委員会要録

1. 日時 平成20年10月18日(土) 午後2時～4時
 2. 会場 中央図書館会議室
 3. 出席者 市史編さん委員7名 欠席2名 事務局3名 傍聴者5名
 4. 会議次第
 - (1) 依頼状交付
 - (2) 開会
 - (3) 市長挨拶
 - (4) 委員の紹介
 - (5) 委員長・副委員長の選任
 - (6) 報告
 - ・市史編さん基本方針とスケジュールの確認
 - ・小平市の古文書と地域資料についての説明
 - (7) 議事
 - ・市史編さんの進め方と調査・研究の課題について
 - ・刊行物の構成と内容について
 - (8) 閉会
- 配布資料 小平市史編さん基本方針 小平市の古文書と地域資料

<会議の概要>

・市長挨拶

市制施行50周年に向けて半世紀をどう位置づけるのか、次の半世紀をどのように描くのか、今後の大きな課題である。

今後のまちづくりや自治体運営の基本は、市民が主体的に担う自治意識をどう高め、より自立した地域組織にしていくかである。このような地域の課題を解決し、歴史的な流れの中で小平市の現在の姿を確認し、将来を展望するという意味からも、市制50周年に向けて市史編さんに取り組むことは、大きな意義のあることである。

本事業は、小平市制50周年を記念した事業と位置づけ、市役所全体で取り組んでまいりますので、皆様のお力添えをいただきながら、この事業の基本方針にも掲げました「小平の歴史を明らかにすることによって、魅力ある郷土を後世に伝え、これからも住み・働き・学び・訪れたいまちとしての魅力づくり」にまい進してまいります。

と存じている。

- ・委員自己紹介

- ・事務局自己紹介

- ・委員長・副委員長の選任

互選により、委員長は大石委員、副委員長は、大門委員が承認された。

- ・事務局より、配布資料に基づき報告事項の説明及び議題の説明

- ・議題に対する質疑応答等

委員：刊行物のボリュームはどれくらいを考えているか。

事務局：これから詳細の内容を検討するが、本編3冊で各々**1000**頁を想定している。

委員：市史研究6冊とのことだが、刊行時期はいつを考えているか。

事務局：毎年3月を目処に考えている。方針の中でも情報発信を謳っており、研究成果や事業の経過報告等を市民に伝える印刷物ととらえている。

委員：地域資料の写真は何十年前からの写真か。

事務局：三十年前の「小平町史」編さん時からの写真である。

委員：近現代史の編さんについては、田無市史同様、行政文書に限らず広く行っていきたい。

委員：感想として、昔話と資料の結びつきが大切である。

委員：小平に係る絵画や作家の資料はあるのか。

事務局：テーマとしては収集していないが、市内在住の作家の資料はある。必要に応じて、収集、調査をしていきたい。

委員：感想として資料の量に圧倒された。どのようなスタンスでこの資料に向き合うかが課題である。小平町史では民俗編がユニークであった。

委員：刊行物の構成はこれで決定か。

事務局：推進本部で決定している。小平の歴史は古代・中世の事柄が少なく、近世、近現代が柱になる。

委員長：委員会のペースはどのようになるのか。

事務局：次回は年度末に予定している。内容としては、今年度の事業経過の報告と来年度の事業計画について検討したい。年に3回を予定している。

委員：懸案として、資料が莫大にあり町史もあるが、期間が短いので情報を整理しなければならない。難しさと楽しさと面白さが同居している。編さん委員会は今

間が限られているので、各分野と定期的に連絡していきたい。

委員 : 感想として、自分の守備範囲の中で全面的に情報提供していきたい。

委員長 : 市史の各分野において、双方の連携を密接に図り意欲的に進めていきたいと思う。